



奈良のオリジナルスイーツを味わう来場者たち＝奈良市

ならスイーツに 来場者が舌鼓

県産食材を使い、奈良のオリジナルスイーツを発信する「ならスイーツコンテスト」の報告イベントが31日、奈良市学園北の巴拉ディ学園前で開催された。会場には1月に行われた同コンテストのグランプリ商品などが並び、訪れた人々は工夫が凝らされたスイーツに舌鼓を打っていた。

同コンテストの第1回目は平成22年に奈良市で行われた。3回目の今年は初めて橿原市内で開かれ、千人

コンテスト報告イベント

以上が訪れた。

今回は「ならスイーツ」の魅力をより広く知ってもらおうと、今年のコンテストでグランプリ（チャレンジ部門）を受賞した奈良女子大生らによる奈良の伝統野菜「宇陀金ごぼろ」を使った焼き菓子などの限定販売や、ハーブティーなど8ブースが展開された。

家族で訪れた奈良市南永井町の主婦、松岡恵美さん（37）は「コンテストのことは今回初めて知ったが、機会があればぜひ行きたい」と話した。

報告イベントは4月1日も行われ、巴拉ディⅡ6階で、午前10時から午後5時。